

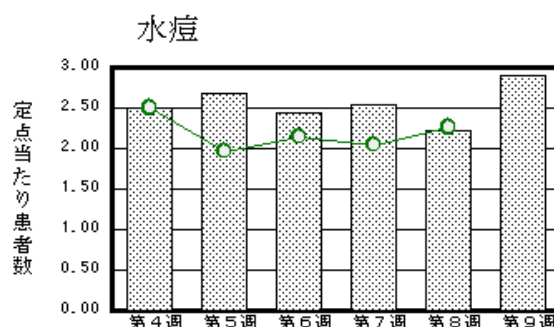
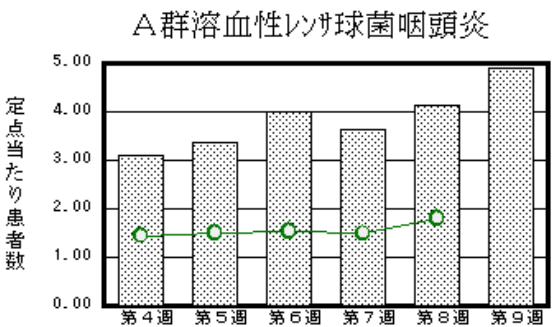
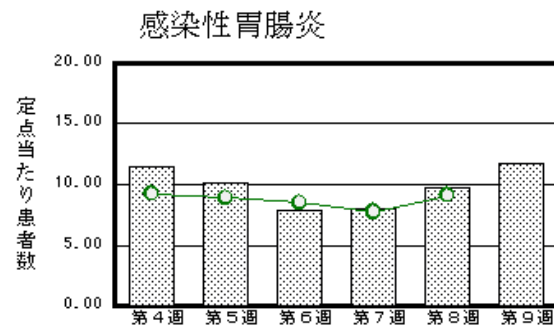
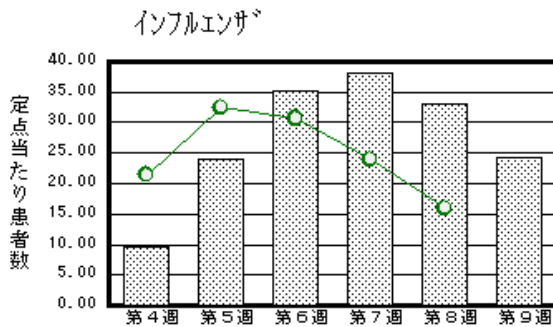
福井県感染症発生動向調査速報

<<平成16年>>

発行日：平成16年3月3日
 <週報> 第9週 (平成16年2月23日～2月29日) 発行：福井県福祉環境部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 インフルエンザ778名(24.3名) 感染性胃腸炎258名(11.7名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎108名(4.9名) 水痘64名(2.91名) 伝染性紅斑23名(1.1名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ(778名) 感染性胃腸炎(258名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(108名) 水痘(64名) 伝染性紅斑(23名) 手足口病(20名) 突発性発疹(16名)
- 【インフルエンザ】報告数が減少しました。(1,055名 778名)。定点あたり患者報告数で見ると奥越地区は32.0名と依然警報レベルとなっています。福井地区29.9名、丹南地区27.6名、二州地区22.3名と注意報レベルが継続しています。ピークは過ぎた様ですが、流行していますから、引き続き注意が必要です。
- 【感染性胃腸炎】報告数が増加しました。(213名 258名)定点あたり患者報告数は福井地区21.0名、丹南地区12.0名、坂井地区9.0名、奥越地区8.0名の順になっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数がわずかに増加しました(91名 108名)。奥越地区で定点あたり12.0名と県内トップとなっており、続く丹南地区11.4名となっています。
- 【水痘】報告数がわずかに増加しました。(49名 64名)丹南地区で定点あたり5.8名、福井地区で4.6名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点 2004年第7週号(2月9日～2月15日)要点

発生動向総覧	<第7週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっている / その他最新動向<1月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について
注目すべき感染症	<インフルエンザ> 第5～6週にかけて最も報告数が増加し、ピークの定点当たり報告数は昨シーズンより若干少ないものの、30をこえていた
病原体情報	患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザウイルス2003/04シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04シーズン 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2003/04
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

今週は報告はありません。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成16年 第9週 平成16年2月23日(月)～平成16年2月29日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(8週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	329 29.91	34 11.33	89 22.25	9 3	96 32	221 27.63	778 24.31	1055 32.97	74828 15.90
小児科 (22)	RSウイルス感染症									194 7週)
	咽頭結膜熱	4 0.57	1 0.33					5 0.23	6 0.27	590 0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21 3.00	5 1.67	1 0.33		24 12	57 11.4	108 4.91	91 4.14	5495 1.81
	感染性胃腸炎	147 21.00	27 9.00	7 2.33	1 0.5	16 8	60 12	258 11.73	213 9.68	27730 9.11
	水痘	32 4.57		1 0.33		2 1	29 5.8	64 2.91	49 2.23	6866 2.26
	手足口病	4 0.57				14 7	2 0.4	20 0.91	18 0.82	169 0.06
	伝染性紅斑	16 2.29		1 0.33			6 1.2	23 1.05	10 0.45	782 0.26
	突発性発しん	2 0.29	1 0.33	3 1	2 1	1 0.5	7 1.4	16 0.73	20 0.91	1832 0.60
	百日咳									25 0.01
	風しん									110 0.04
	ヘルパンギーナ									67 0.02
	麻しん(成人麻しんを除く)									28 0.01
流行性耳下腺炎	4 0.57		2 0.67			1 0.5	3 0.6	10 0.45	2 0.09	1603 0.53
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									26 0.04
	流行性角結膜炎									566 0.89
基幹 (6)	細菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17		10 0.02
	無菌性髄膜炎									13 0.03
	マイコプラズマ肺炎									84 0.18
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									5 0.01
	成人麻しん									1 0.00

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第7週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第9週 平成16年2月23日(月)～平成16年2月29日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	9	6ヶ月未満			1	4				3						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	22	12ヶ月未満				17	3	3		11						12ヶ月未満								
1歳	74	1歳			1	41	11	9	3	2						1歳								
2歳	56	2歳			5	26	12	7	2							2歳								
3歳	84	3歳		2	12	17	11	1	5							3歳								
4歳	60	4歳		1	15	26	7		2						6	4歳								
5歳	68	5歳		1	20	24	18		5						1	5歳								
6歳	41	6歳			9	15	2								2	6歳								
7歳	45	7歳			12	21			3						1	7歳								
8歳	42	8歳			7	16			1							8歳								
9歳	24	9歳			9	16			2							9歳								
10～14歳	116	10～14歳		1	11	21										10～14歳								
15～19歳	24	15～19歳			1	3										15～19歳								
20～29歳	30	20歳以上			5	11										20～29歳								
30～39歳	32															30～39歳								
40～49歳	23															40～49歳			1					
50～59歳	7															50～59歳								
60～69歳	13															60～69歳								
70～79歳	4															70歳以上								
80歳以上	4																							
合計	778	合計		5	108	258	64	20	23	16					10	合計			1					
前期計	1055	前期計		6	91	213	49	18	10	20					2	前期計								
当期間/前期	0.74	当期間/前期		0.83	1.19	1.21	1.31	1.11	2.3	0.8	***	***	***	***	5	当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数	-277	増減数		-1	17	45	15	2	13	-4					8	増減数			1					

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき